

議会だより

第9号

第3回9月定例会

学校給食費10月から無料化へ

平成27年第3回（9月）定例会が9月8日から14日までの7日間の会期で開催され、専決処分事項の承認1件、人事案件1件、財産の処分1件、条例3件、報告1件、27年度各会計補正予算5件、26年度各会計決算8件などが提案され、慎重に審議された結果、原案どおり可決・認定されました。

また、一般質問には、6名の議員が登壇し、執行部への考えを質しました。

村長諸般の報告

○株式会社みずかみ経営状況、分析結果について第三セクター特別委員会等を通じ、継続して経営改善に努める

岡紀彦元社長の業務上横領及び建造物侵入、窃盗事件について9月2日、熊本地方裁判所人吉支部において懲役2年、執行猶予4年の判決が言い渡された。

○ダイヤモンド婚、金婚式の表彰

ダイヤモンド婚（結婚60年） 2組
金婚式（結婚50年） 12組

○台風15号の被害状況

村内3地区の避難所に自主避難があったが、人的被害はなかった。被災した村道、林道等の災害復旧工事のため、測量設計費を補正予算計上。



○国道388号線、舟石から湯山峠までの未改良区間の整備状況の展望

熊本県土木部が単独予算により、舟石から湯山峠までの約2.8kmの未改良区間の調査測量に着手。

○クロスカントリー整備事業に係る間伐等森林整備促進補助金の返還

クロスカントリーコース整備用地内における村有林間伐に伴い、平成23年度、国の補助事業で実施した間伐部分の間伐等森林整備促進補助金の返還について、国・県と協議中。

○財産処分

昭和31年7月17日に熊本県営林局長と水上村教育委員会教育長との間で岩野地区、石舟国有林2039林小班が学校分収林として分収契約され、本年が契約満了となり立木が入札に付されたことによる林産物売払が通知された。

○熊本県町村会の町村長海外研修

8月16日から20日までの3泊5日の日程で、熊本県町村会の町村長海外研修でインドネシアの視察研修を行い、参加した県下町村長との親睦と視察研修の見聞を村政運営にいかしていきたい。

教育長諸般の報告

○全日本中学生女子ソフトボール大会出場

8月7日から10日にかけて、大阪市で開催された全日本中学生女子ソフトボール大会に水上中が出場。初戦の岡山県津山東クラブに敗退したが、生徒には

貴重な経験となった。また、熊本県選抜チームに西瑩欣（イエーション）さんと黒木あゆさんが選ばれ、沖縄県で開催された九州各県対抗中学生選抜ソフトボール大会に出場。



○県中体連柔道大会

7月25日、小国ドームで開催された県中体連競技大会団体戦は、予選リーグ2位で通過したが、決勝トーナメントで九州学院に敗退。個人戦では、90キロ級で竹内勇伸（ゆうしん）君、73キロ級で坂本拳斗（けんと）君が優勝。九州大会個人戦では、90キロ級で竹内君が3位、73キロ級で坂本君が準優勝。



2人は北海道函館市で行われた全国大会に出場し、坂本君は惜しくも2回戦敗退、竹内君は3位という快挙を成し遂げた。

○第70回県民体育祭

9月12日から13日に、熊本市を会場に第70回県民体育祭が開催され、各種競技に本村から42名が参加。

人事案件

○水上村教育委員の選任同意について

荒嶽そのみ氏（湯山覚井）を選任することに同意しました。

条例

○水上村個人保護条例の一部を改正する条例の制定について

平成25年5月に「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号利用法）」が制定されました。一般的には、マイナンバー法と言われています。10月

からの法施行に伴い、地方公共団体の個人番号を含む個人情報 の適正な管理について必要な措置を講ずるための条例改正です。

○水上村手数料条例の一部を改正する条例の制定について

10月からの番号利用法施行に伴い、証明関係等手数料の区分等について改正が必要となったため、条例改正するものです。

○水上村児童又は生徒の学校給食に係る経費の負担に関する条例の制定について

学校給食に係る経費を村が負担することにより、保護者の負担軽減を図るとともに子育て支援及び教育の充実に寄与することを目的に条例制定するものです。



予算

○平成27年度水上村一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額に5,120万円を追加し、総額を24億8,835万円とするものです。

歳出の主なものは、白蔵線、幸野幸野原線、幸野原松山線、覚井笠振線、本野笠振線、古屋敷柳平線の村道6路線の舗装工事3,000万円などを追加計上しました。

○平成27年度水上村国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に1,203万7千円を追加し、総額を4億2,393万7千円とするものです。



○平成27年度水上村国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に1万5千円を追加し、総額を692万5千円とするものです。



○平成27年度水上村介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に2,662万6千円を追加し、総額を3億5,742万6千円とするものです。

○平成27年度水上村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に5万4千円を追加し、総額を3,145万4千円とするものです。

決算認定

○平成26年度水上村一般会計歳入歳出決算認定

○平成26年度水上村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

○平成26年度水上村介護保険特別会計歳入歳出決算認定



○平成26年度水上村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

○平成26年度水上村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定

○平成26年度水上村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

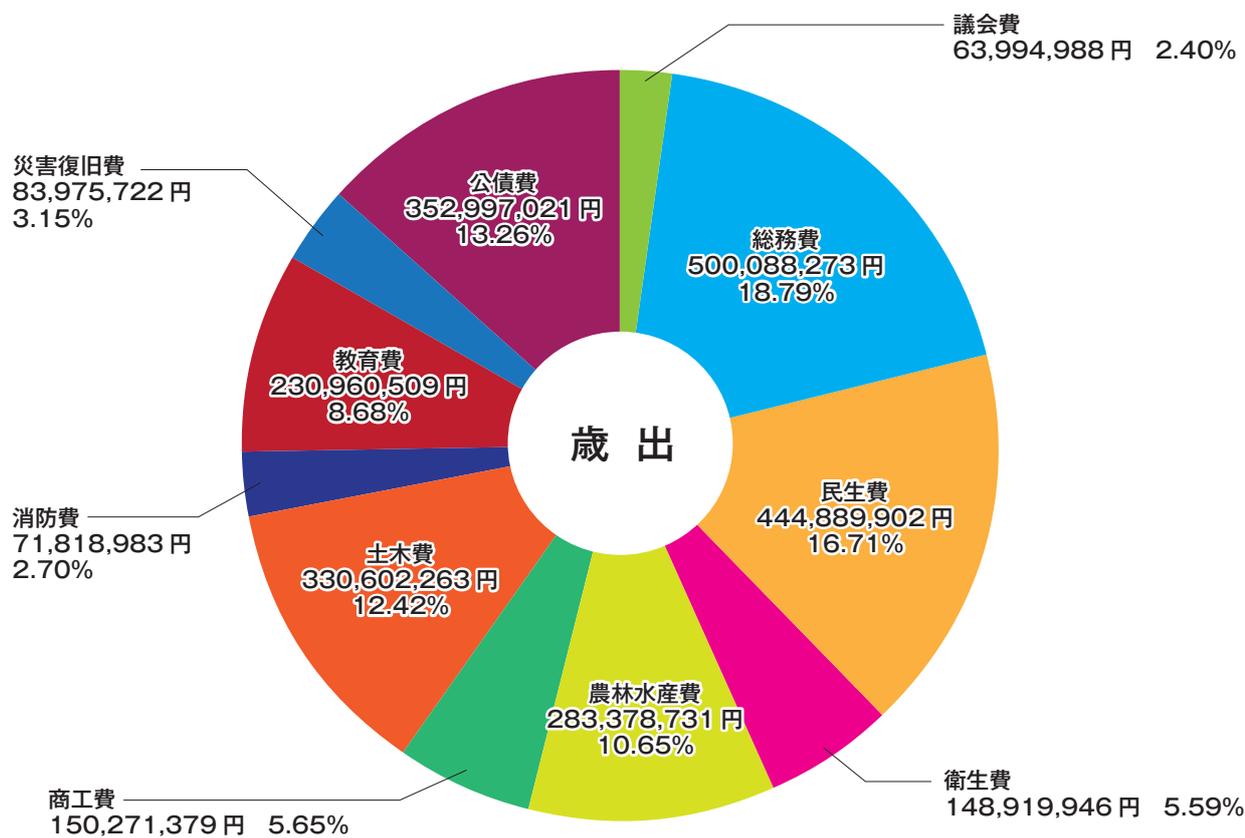
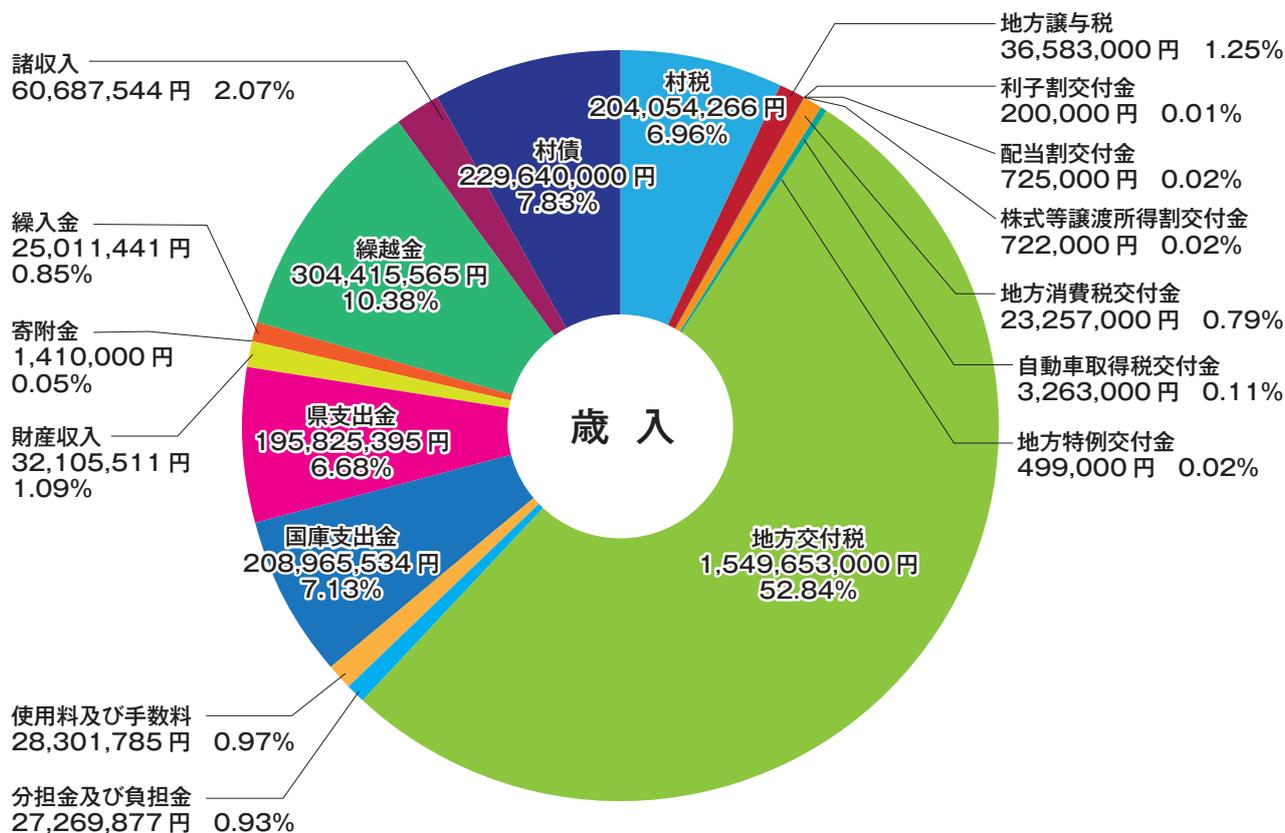
○平成26年度水上村林業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

○平成26年度水上村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定



いずれも審議の結果、原案どおり認定されました。

平成 26 年度歳入歳出表 一般会計



平成 26 年度 水上村会計別決算総括表

(単位：円)

会計別	区分	予算現額	決算額	予算現額に対する決算額比較増減額(繰越明許費を含む)	予算現額に対する決算額の比較(%)
一般会計	歳入	2,964,656,000	2,932,588,918	△ 32,067,082	98.92%
	歳出	2,964,656,000	2,661,897,717	△ 302,758,283	89.79%
	歳入歳出差引残額		270,691,201		
国民健康保険特別会計	歳入	375,900,000	380,491,152	4,591,152	101.22%
	歳出	375,900,000	325,538,459	△ 50,361,541	86.60%
	歳入歳出差引残額		54,952,693		
介護保険特別会計	歳入	499,524,000	486,829,775	△ 12,694,225	97.46%
	歳出	499,524,000	459,242,946	△ 40,281,054	91.94%
	歳入歳出差引残額		27,586,829		
後期高齢者医療特別会計	歳入	30,229,000	30,195,537	△ 33,463	99.89%
	歳出	30,229,000	29,294,373	△ 934,627	96.91%
	歳入歳出差引残額		901,164		
簡易水道事業特別会計	歳入	45,935,000	46,554,085	619,085	101.35%
	歳出	45,935,000	41,649,897	△ 4,285,103	90.67%
	歳入歳出差引残額		4,904,188		
農業集落排水事業特別会計	歳入	58,510,000	59,043,612	533,612	100.91%
	歳出	58,510,000	57,985,353	△ 524,647	99.10%
	歳入歳出差引残額		1,058,259		
林業集落排水事業特別会計	歳入	6,700,000	6,679,465	△ 20,535	99.69%
	歳出	6,700,000	6,619,220	△ 80,780	98.79%
	歳入歳出差引残額		60,245		
下水道事業特別会計	歳入	38,851,000	39,532,888	681,888	101.76%
	歳出	38,851,000	37,915,087	△ 935,913	97.59%
	歳入歳出差引残額		1,617,801		
総合計	歳入	4,020,305,000	3,981,915,432	△ 38,389,568	99.05%
	歳出	4,020,305,000	3,620,143,052	△ 400,161,948	90.05%
	歳入歳出差引残額		361,772,380		

報告

○平成26年度水上村財政健全化判断比率の報告について

財政健全化法に基づき監査委員の意見を付して報告があり、いずれも早期健全化基準を下回っており良好と認められました。

その他

○専決処分事項の承認を求めることについて(平成27年度水上村一般会計補正予算(第3号))
 ○財産の処分について(学校分収林1,170万7,200円で処分)
 ○議員派遣の件について
 ○継続審査申出書について

7月23日開催 第3回臨時会

人事案件

○水上村監査委員の選任同意について
 松下祐司氏(あさぎり町)を選任することに同意しました。

○水上村教育長の選任同意について
 西野健氏(あさぎり町)を選任することに同意しました。

その他

○継続審査申出書について

予算

○平成27年度水上村一般会計補正予算(第2号)
 歳入歳出予算の総額に265万

一般質問

考えを質す!



小野 頼年 議員

Q 奨学金制度 改正は

A 課題も多いが 前向きに

問 制度の基準は。

答 橋本教育課長 高校、大学
など、在学、進学したりする
者で、勉学の意欲を有し、経済
的な理由により就学が困難な者
に対し奨学金を貸与する。また、
社会貢献し得る人材の育成を図
るといったことも目的としている。

問 高校進学において、制度の
見直しは。

答 中嶽村長 貸与額を引き上
げるといふ選択肢もあるが、
返還額も多くなり、滞納がある
のも事実である。様々な無利子
の奨学金制度と合わせ関係者に
広く周知したい。

問 現在の奨学金制度に加え、
一定期間、村内で勤務または居住
するなどを条件に返済免除や入

学補助といった新たな制度を
創設しては。

答 中嶽村長 入学金の違いや
中途退学など検討すべき課
題も多くあるが、良い方向に考
えていきたい。

Q 今後の空き家対策は

A 空き家等対策計画を策定

問 空き家対策の現状は。

答 田島企画観光課長 対策の
現状については、2つある。

1点目は、景観の悪化や防災、
防犯の面からも危惧され、住民
の生活環境に深刻な影響を及ぼ
している。「空き家等対策計
画」の策定を進めたい。2点目は、
平成25年度空き家利活用の調査
では、住居が145戸、そのうち

2戸の住居の情報をホームペー
ジ上で提供している。

問 危険家屋固定資産税の優遇
措置廃止の考えは。

答 中嶽村長 空き家だけ優遇
措置を廃止しても撤去する
かといえ、厳しいものがある。
国の予算措置を見ながら考えて
いきたい。



Q

クロスカントリー整備の 必要性は

A

地域経済の波及効果を狙う



那須 正弘 議員

問 利用者の場所的条件の判断基準は。

答 橋本教育課長 日本陸上競技連盟、実業団や高校の監督、コーチから豊かな自然、良質な温泉、おいしい料理、真夏でもさわやかな気候とスポーツ合宿に最適な環境が整っており、標高も900〜1,000mで湯山の中心から15分程度ということで、計画を進めてきた。

問 黒字経営の見通しは。

答 橋本教育課長 施設単体での運営は、利用料だけの収入のため大変厳しい。黒字経営を目標にするのではなく、地域における経済効果により、様々な波及効果を狙いたい。



Q

ゴイシツバメシジミの保護管理体制は

A

専門家の話を聞き、方向性を考える

問 保護観察の観点から施設整備の構想は。

答 橋本教育課長 食草であるシシランの保護・

育成・増殖の取り組みや蝶本体の保護活動に関係機関と協議、実施している。

答 中嶽村長 施設にこだわらず、自然の中で見守りながら繁殖も含め専門家の話を参考に今後の方向性を考える。



Q

運動部活の社会体育移行の対策は

A

委員会を設置し、 周辺町村と検討



米本 宗徳 議員

問 小学校の運動部活動が社会体育へ移行するにあたり、今後村内だけではできないスポーツもあると思うが、球磨人吉全体での検討会の開催予定は。

答 西野教育長 本村でも実態に応じた形で移行できるように、委員会を設置し、周辺町村と連絡を取り合って検討していく。

問 夏休みは子どもたち、先生たちにとってはどんな期間か。

答 西野教育長 子どもたちにとっては、学校で体験できないことが家庭や地域でできる期間である。

先生たちにとっては、1学期の検証、まとめをする期間であり、後半は2学期の準備をする大事な期間になる。



問 球磨人吉に、夏休みを短縮している学校があるが、水上の小・中学校は短縮する必要はあるのか。

答 西野教育長 規模の大きい学校は行事に使う時間が多

く、授業日数が不足する。水上の場合は、30〜40時間の余裕が見られるので短縮する必要はない。

Q

支障木の除伐は

A

住民に周知をはかり、 依頼する

問 道路環境は、よくなっているが、通行の妨げとなる支障木の除伐などの対応は。

答 堤田建設課長 道路敷きにある支障木は対応できるが、私有地については切ることができない。県から周知の依頼があり、道路に張り出している竹木伐採のチラシを回覧し、住民にお願いしている。

問 県道上椎葉湯前線の役場からダムまでの間が暗く、道路下を買収、伐採し、桜や紅葉

などの樹木を植栽する考えは。

答 中嶽村長 旧県道と今の県道の間が急峻で、道路の保全管理が気になる。当面、民有林については見守っていく。

問 県道上椎葉湯前線の役場からダムまでの間が暗く、道路下を買収、伐採し、桜や紅葉



Q

農業振興策の考えは

A

ブランド化を目指し、 産業振興機構を視野に



杉野 久志 議員

問 担い手不足解消への取り組みは。

答 中嶽村長 将来の後継者に青年就農給付金を交付して

いる。また、村の単独事業として農業生産資材の導入事業を中心とした各種補助金制度を設け、様々な担い手対策を講じているが、今後も十分に検討していく。

問 これからの農業に対する村の考えは。

答 中嶽村長 農地の集積を行い、経営基盤を確立させ、農業所得の向上を目指す。更に、米のブランド

化のためにも官能食味検査を実施して特Aを目指し、販売に対して消費者アドバイザーと産業推進機構との兼ね合いの中で考えていく。



Q

湯山診療所について

A

状況を見守って検討

問 湯山地区に診療所を置く考えは。

答 中嶽村長 水上温泉診療所から熊本市医師会に運営の依頼をされている。今後の状況を見守り、検討したい。



Q 村政座談会は

A 地区集会などで対応



米良 哲 議員

答 中嶽村長 今のところ、座談会等を開催する計画はないが、住民の方が多く集まる機会などでの要請があれば、そこで話をさせて頂きたい。日程を考慮し、区長会などで呼びかけていきたい。

問 選挙期間中大きく「4つ」の公約をされたが、その内容や決意など、村民に対して説明及び意見交換の場を設ける考えは。



問 安全で安心な地域づくりを推進するため、公共施設等への「防犯カメラ」設置の考えは。

答 中嶽村長 設置するのはどんな目的でどこに設置するかが、一番の問題だと思う。最初から犯罪抑止という事だけでは法律的にも上位法優先の原則があることから、まず調査を行うべきと考える。

Q 防犯カメラ設置の考えは

A 調査を行い、検討する



Q ラジオ受信難対策の 取り組みは



荒嶽 晋 議員

A 人吉局の整備状況を見はからい検討



問 災害時におけるラジオの必要性は。

答 中嶽村長 必要性は十分理解している。早急に対応を考え補助事業の採択にむけ努力したい。

問 ラジオは災害時のファースト・インフォーマー（第一情報提供者）と位置付けされている。

平成11年3月の一般質問でラジオ受信難対策について取り上げられたがその後の経緯は。

答 那須総務課長 当時NHKの改修は5,000世帯以上が対象ということで不可能。FM中継局についても補助事業がなく取り組みに至っていない。

問 受信難解消にむけた今後の取り組みは。

答 那須総務課長 基地局である人吉の高塚山の鉄塔の高さを上げて、電波強度を高める方式が考えられる。

現在、AM波をFM波に変換する方式がすすめられているが、音質はよくなるものの受診エリアは狭くなる。

本村の現状にあった方策を調査し、整備状況を見はからった後に事業を開始したい。

議会を傍聴してみませんか 次回の定例議会は12月です

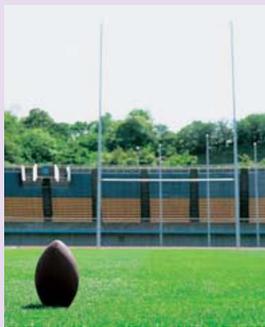
（手続は住所・氏名を書くだけです） 詳しくは議会事務局Tel 44-0319まで

編集後記

ここ数年、世界のスポーツ界において日本人の活躍が目立っている。特に今年は、ラグビーのワールドカップでの活躍が話題となり「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という言葉がよく聞かれ、選手たちの頑張りをたたえた。これからは駅伝のシーズンとなるが、この言葉がよく合うスポーツではないだろうか。スポーツだけではなく、社会生活においても大切な意味を持つ言葉ではないかと思うが、皆さんはどう感じられますか。

今年も残すところあと2か月、本格的な厳しい寒さに備え、体調管理には十分注意していただきたい。

米本 宗徳



広報特別委員会

委員長

荒嶽 晋

副委員長

米本 宗徳

委員

米良 哲

山崎 隆浩